

GIFU

Public Prosecutors Office

岐阜地方検察庁職員採用案内



- #1 岐阜地検ってどんなところ？
- #2 若手職員に聞きました！！
- #3 検察事務官のキャリアパス
- #4 タイムスケジュール～職員の日1日に密着～
- #5 勤務条件とワークライフバランス
- #6 採用に関するアレコレ！！～採用担当者インタビュー📝～

岐阜地検ってどんなところ？

広報キャラクター
ウーピー



周辺環境がいい！

岐阜地検の近くには、岐阜城を頂に構える金華山と鶺鴒いで名高い清流・長良川に囲まれた岐阜公園、伝統工芸品の店舗やモダンな飲食店が並びレトロな雰囲気が魅力の川原町界隈、図書館やギャラリーなどが入る複合文化施設「ぎふメディアコスモス」など、市民の憩いの場として愛されている施設があり、天気の良い日に散歩すればリフレッシュできること間違いなしです。また、JR、名鉄電車、岐阜バスといった公共交通機関が充実しているため、岐阜県外からも通勤圏内の場所にあり、特に、岐阜バスを利用する場合は、庁舎の目の前にバス停があるため、雨の日もストレスをほとんど感じることなく通勤することが可能です。

管内の支部も、周りは自然に囲まれており、高い建物が少なく見晴らしの良い心落ち着く抜群の環境の中にあります。そして、大垣、多治見、御嵩支部はJR又は名鉄電車が通っており、最寄駅からも徒歩圏内であるため県外からの通勤も可能です。また、高山支部は令和2年11月に新庁舎が完成しており、気持ち良く仕事ができる環境が整っています。

いろいろな経験ができる！！

捜査・公判部門では、捜査担当と公判担当が分かれていないため、一つの事件に捜査から公判まで一貫して携わることができます。また、岐阜地検は全国的にも比較的繁忙庁であり、取り扱う事件も多種多様であるため、様々な事件に携わることができます。

検務部門や事務局部門では、担当する事務が細分化されておらず一人の職員が携わる事務が幅広いことや、場合によっては担当の垣根を越えて他の事務に関わることもあるため、いろいろな経験を積む機会が多く、早期に知識とノウハウを習得することができます。



働きやすい職場環境！！

岐阜地検の職員数は150名程度とそれほど多くはありませんが、その分職員ひとりひとりの顔が見え、職場の雰囲気は明るくアットホームな感じであるため、仕事やプライベートで困った時は気軽に同僚や先輩に相談することができます。

また、職員はワークライフバランスへの取組にも積極的であり、年次休暇の取得や定時退庁の励行への意識が高く、メリハリを付けて仕事と私生活を充実させています。

さらに、野球、バレーボールなどの部活動も盛んに行われており、老若男女問わず仕事以外でも職員同士のコミュニケーションが活発に行われています。



若手職員に聞きました！！！！

捜査・公判部門勤務・立会事務官（大卒程度試験採用2年目、男性）

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

元々は警察官になりたかったのですが、学生時代に放送されていた、検察庁を扱ったドラマを見て興味を持ちました。

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

犯罪捜査を行う官庁ということで、体育会系で上下関係がとても厳しいと思っていましたが、上司や先輩方が丁寧に教えてくれるので、とても働きやすい環境だなと思いました。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

事件記録を読んで、裁判所に提出する証拠等関係カードなどを作成しているときに、捜査や公判に携わっていることを実感することができ、また、裁判が無事終結すると、より達成感を得ることができました。

・今後の目標を教えてください

検察事務官としてまだまだ未熟ですので、これから様々なことを学び、将来的には周りから頼られる存在になりたいと思います！

捜査・公判部門・事件管理担当（大卒程度試験採用2年目、女性）

・担当する業務の内容を教えてください

主に、取調べに立ち会う通訳人の手配や、公判記録の閲覧謄写に関する事務を担当しています。

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

中学生のときに検察庁を題材にした某人気ドラマを見て憧れたからです。

また、業務説明会に行った際、職員間の距離が近く、アットホームな雰囲気魅了され、岐阜地検を第一志望にしました。

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

私は、運動が大の苦手なため、検察庁は体育会系な印象があったため心配していたのですが、頭脳を使った労働が多いなと思いました。

今のところ、体力不足で特に困ったことはありません。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

登録が少ない希少言語の通訳人が必要になり、手配するのに苦戦した中、確保できたときです。

若手職員に聞きました！！！！

支部勤務・検務担当（大卒程度試験採用2年目、男性）

・担当する業務の内容を教えてください

事件に関係する証拠品の受入や保管、処分業務を行っています。また、事件記録の保管や貸出の業務を行っています。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

警察から送致されてくる事件の記録を初めて自分一人で点検できたときは達成感がありました。

・今後の目標を教えてください

検察事務官の仕事について、まだまだ知らないことだらけなので、法律の勉強などをしながらたくさん仕事を覚えて、頼りがいのある検察事務官になりたいです。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

毎日新しい事件がやってくる検察庁では、日々新鮮な気持ちで仕事に取り組むことができ、やりがいや達成感も多くあります。

少しでも岐阜地検に興味を持っていただけたのであれば、是非官庁訪問などに来てみてください。

捜査・公判部門勤務・立会事務官（大卒程度試験採用2年目、男性）

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

様々な業務説明会に参加した中で、検察庁での業務は、立会事務官以外にも、多種多様な業務があることを知り、その点に魅力を感じたからです。

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

職場の雰囲気や堅いのかなと思っていましたが、仕事で困ったことがあれば周りの方々が優しく丁寧に教えてくださったり、相談に乗ってくださるので、働きやすい職場だと感じました。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

実際に捜査や公判実務に携わったことです。検察庁の一員として働いているんだと改めて実感しました。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

検察庁の業務説明会などに来ていただければ、どんな仕事をしているのか、また、どんな方々が勤務しているのか分かると思うので、興味のある方は是非検察庁に来てみてください。

若手職員に聞きました！！！！

支部勤務・検務担当（高卒者試験採用2年目、男性）

・担当する業務の内容を教えてください

警察から送致された事件を受理したり、検察官が捜査を終えた事件の処理を行ったりしています。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

捜査書類等の点検をしていて書類の不備に気づき、自分の発見によってミスを防げたときなどはとてもやりがいを感ずみます。

・今後の目標を教えてください

まだまだ経験していない仕事がたくさんあるので、幅広くいろいろな分野の業務に挑戦して経験を積むことで、スキルアップに注力していきたいと思っています。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

法律の知識や理解がなくても、仕事をしていく過程で知識や経験が身についていくのを実感しているのので、法学部の出身でなくても是非入庁を検討してみてほしいと思います。

支部勤務・立会事務官（大卒程度試験採用3年目、男性）

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

ほかの仕事では携わることのできない刑事事件の捜査という、検察庁ならではの仕事に関われることがかっこいいと感じました。また、岐阜地検は、非部制庁なので、捜査担当と公判担当が分かれておらず、1年間の立会事務の中で両方を経験できると説明会で聞いて魅力を感じました。

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

検察事務官は、検察官の補佐をするというイメージがありましたが、実際には、検察官から事件について意見や考えを聞かれ、自分の意見が反映されることもあり、意外でした。

検察官と協力して捜査に取り組んでいることが実感できます。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

様々な方の人生を左右する場面にも立ち会うことのある重要な仕事で、責任は重大ですが、その分、検察官と協力して一つの事件に向き合い、捜査を遂げることができたときにやりがいを感ずみます。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

これから公務員試験やその他就職活動をしていく中で、進路に迷ったり悩んだりすることはあると思いますが、業務説明会や官庁訪問を通して、少しでも検察庁の業務に興味を持ち、就職先として検察庁を選んでいただけたら幸いです。

若手職員に聞きました！！！！

支部勤務・立会事務官（大卒程度試験採用3年目、女性）

・担当する業務の内容を教えてください

副検事の立会事務官として、取調べの補助や、捜査・公判に必要な関係機関への照会や連絡、書類作成などを行っています。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

法律や社会情勢について学び続けられることにやりがいを感じます。社会で起こっている事象を生で感じ、充実した日々を過ごせています。

・今後の目標を教えてください

求められる働きに対し、迅速にミスなくできるようになることです。他部門の業務をよく理解し、きめ細やかで緻密な仕事ができるようになりたいです。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

学ぶことがたくさんあり大変ですが、検察官や上司、先輩方が丁寧に指導してくださるので、毎日楽しく仕事ができています。

岐阜地検で皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！

捜査・公判部門勤務・立会事務官（大卒程度試験採用3年目、男性）

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

業務説明会で行われた座談会がきっかけで、検察庁での業務に興味を抱いたからです。

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

最初は堅い役所のイメージがありましたが、実際に入ってみると優しい人が多く、自分が思っていたイメージと違いました。

・今後の目標を教えてください

検務事務についての業務経験が浅いため、検務事務の経験を積んで、検察業務に更に深く携わっていくことです。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

検察庁の業務は、責任感があるとともにやりがいもある業務です。

少しでも検察庁に興味を抱いたら、採用面接に行ってみてください。



広報キャラクター
ウージー

若手職員に聞きました！！！！

支部勤務・立会事務官（大卒程度試験採用3年目、女性）

・担当する業務の内容を教えてください

検察官の捜査や公判における業務のサポートです。

具体的には、取調べの立会い、関係機関（警察や裁判所等）や検察庁内の各部署との連絡調整、検察官のスケジュール把握、捜査・公判における必要な書類の作成など、その業務は多岐に渡ります。

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

地元である岐阜県で就職したかったことや、業務説明会での、中規模ならではの和気藹々とした先輩方の雰囲気惹かれたからです。

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

採用前は、検察庁は、お堅い人が多く、毎日残業して寝る間も惜しんで仕事をする、忙しそうなイメージでした。しかし、採用後、実際に働いてみると、確かに忙しいときもありますが、周りの優しい上司や先輩方の手厚いサポートで助けてもらえる環境であり、また、やるべき仕事をやるべき時間に終わらせ、ワークライフバランスを充実させている人が多く、良い意味でギャップを感じました。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

夜間に検察官とともに警察官の捜査に立ち会ったことです。事件の真相解明に携わっている実感があり、「検察庁らしい仕事に関わっている！」とやりがいを感じました。

捜査・公判部門・立会事務官（高卒者試験採用3年目、男性）

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

専門学校を通じて検察庁を知り、パンフレット等で興味を持ち志望しました。

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

イメージより年齢の近い職員や、親しみやすく優しい職員が多く、気軽に相談でき、働きやすい環境だと感じました。

・今後の目標を教えてください

指示待ちになるのではなく、自分自身で事件の処理方針などを検討し、見通しを持った業務遂行を心掛けたいです。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

法律の知識が乏しいことで検察庁で働くことに不安を感じている人がいるのであれば安心してほしいです。

私も法律の知識が全くない状態で入庁していますが、研修など、勉強できる機会がたくさんありますし、周りの先輩方も優しく教えてくれます。検察庁で是非一緒に働きましょう！

若手職員に聞きました！！！！

捜査・公判部門・立会事務官（高卒者試験3年目、女性）

・岐阜地検を志望した動機を教えてください

元々検察庁の業務に興味があり、参加した業務説明会で耳にした職員同士の会話の雰囲気がとても気さくで柔らかく、働きやすそうだと思い、志望しました。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

立会事務官として、実際に捜査や公判の実務に携わったことで、検察庁の一員として働いていることが実感できたことです。

・今後の目標を教えてください

自身の仕事だけでなく、他部門の業務内容も理解し、円滑に業務が進むように努めていきたいです。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

法律の知識がなくても、仕事をしながら学ぶことができますし、検察官や先輩事務官から学び方、調べ方を教えてもらえるので、不安に思うことはないと思います。

捜査・公判部門・立会事務官（高卒者試験採用3年目、男性）

・採用される前と後で検察庁のイメージは変わりましたか？

採用されるまでは、思い描いていた検察庁は、法律を扱う＝堅いイメージ＝人が怖い、というイメージでしたが、実際に入庁してみると優しい方が多く、困っていると手助けしてくれることが多いです。

・やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

検事と一緒に犯行現場を見に行ったり、防犯カメラ映像を確認して、意見を出しながら事件を捜査するときにやりがいを感じます。自分が起案した起訴状が、検察官に手直しされることなく公判請求できた際には達成感を得られました。

・今後の目標を教えてください

自分が先輩からされたように、後輩に教えてあげられるような十分な知識を増やしていきたいです。

・検察庁を目指す後輩に伝えたいことはありますか？

私自身、法律の知識が全くなく検察庁に入り、心配でしたが、困った際は上司や同僚が丁寧に教えてくれる職場環境ですし、研修などもあるので、安心して入ってきてほしいです。

一緒に働けることを楽しみにしています！

検察事務官のキャリアパス

副検事（40代男性）

平成15年 検察事務官 採用
【経歴内訳】 捜査・公判部門 12年
検務部門 2年
事務局部門 2年
平成31年 副検事試験 合格

検察事務官（30代男性）

平成26年 検察事務官 採用
【勤務地】 本庁勤務 5年
支部勤務 3年
高検勤務 3年
【経歴内訳】 捜査・公判部門 4年
検務部門 2年
事務局部門 3年
企画調査課 2年

副検事を目指したきっかけを教えてください

元々、検察官に興味を持っていたところ、検察事務官に採用された後、立会事務官として捜査・公判業務に従事し、検察官の仕事を間近で見えていく中で、自分も検察官として、社会正義の実現の一端を担いたいという気持ちが強くなり目指すことにしました。

岐阜地検を志望したきっかけを教えてください

元々公務員になりたいと考えていたのですが、業務説明会で岐阜地検の業務内容を聞き、ニュースやドラマなどで見ている「捜査・公判」などに携わることができることに魅力を感じ岐阜地検を志望しました。また、業務内容も捜査・公判部門、検務部門、事務局部門と幅広く、いろいろな業務にチャレンジできることも魅力だと思います。

副検事試験の勉強方法を教えてください

刑法、刑事訴訟法等の試験で出題される法律科目の参考書を読んで法的知識や重要な裁判例を習得したり、副検事を目指す職員を対象にした研修や勉強会に参加して法的思考力及び答案作成能力を身に付ける努力をしていました。また、試験直前期は、過去に出題された試験問題の答案作成を繰り返し、試験時間内に答案を完成させる練習を行っていました。

やりがいや達成感を感じた経験を教えてください

検察官と二人三脚で事件を捜査し、真相を解明していくことにやりがいを感じます。捜査の結果、被告人に適切な処罰がなされたときには、自分も社会に貢献することができると達成感を味わうことができました。また、関係機関と協力し、所在不明者となっている被告人を発見できた際には、大きな達成感を得ることができました。

副検事としてやりがいを感じた経験を教えてください

複雑な事件において、起訴・不起訴の処分を決めるに当たり、証拠と真剣に向き合い、適正な処分を決めることができるときや、裁判が終わった後、被害者から感謝の言葉をもらったとき、検察官になってよかったなどやりがいを感じます。

今後の目標を教えてください

中堅事務官として、上司をサポートし、若手職員を導く立場にあると思うので、積極的にコミュニケーションを取り、風通しのよい職場の醸成に寄与していきたいと思います。また、私は、採用後数年経ちましたが、自分には未熟な部分はまだ多いと思いますので、今後も様々な業務に積極的に挑戦していきたいと思っています。

「キャリアパス」～異動・昇進・研修ってどんな感じ～

採用後はおおむね1年から2年のサイクルで様々な業務を経験するほか、本人の希望や適性を考慮して、他の検察庁などでの勤務を経験することで検察事務官として成長していきます。

研修は採用時から一貫した研修プログラムが用意されており、採用直後には、検察庁職員として必要な基礎的知識や技能の修得を目的とした初等研修が行われ、その後一定期間を経過した後に中等研修、専修研修といった経験年数に応じた研修が実施されています。その他にも、外国語、簿記、デジタルフォレンジック（電子データの保全、解析）、裁判員裁判の専門知識を深めるための研修など時代の要請に応じた様々な研修が実施されています。

また、一定の資格基準に達して試験に合格すると副検事に任官することができ、さらに、副検事として一定の勤務経験を積んで試験に合格すると検事に任官することもできるなど、検察事務官から副検事・検事への道も開かれています。

タイムスケジュール ～職員の日に着～



徴収担当 検務専門官

採用11年目。会計課、企画調査課、立会事務官、支部勤務などを経験し本年度より2回目の徴収担当。部下ができて、より仕事に力が入ります。

8:30

出勤

裁判所に対して裁判等の確定を確認します。被告人から不服申立てがなく確定した場合はその把握を行います。

9:30

納付告知・督促

罰金などの徴収金は、原則、金融機関にて納付することになっています。そのために必要な振込用紙を作成して未納者に郵送します。

11:30

日銀収納

検察庁から郵送した振込用紙により徴収金を納めた旨の通知が金融機関からありました。内容を確認し、納付状況を把握します。

12:00

ランチ

同僚とランチに出かけました。エネルギーを補給して、午後からもがんばります！

13:00

現地調査

徴収金未納者の中には、所在不明など連絡がつかない者もいます。自宅や勤務先などを訪問して納付の督促をしたり、内偵して所在の確認をします。

15:30

徴収金未納者の電話対応

徴収金未納者から罰金が納められない旨の電話がかかってきました。収支状況を確認するなどし、納付を促します。

17:00

最終確認・翌日の準備

当日に処理すべき業務がすべて完了したか最終確認し、翌日の業務スケジュールの計画をします。

17:15

退庁

今日は、所属している検察庁バレー部の練習に参加します！汗を流して心も体もリフレッシュ♪



立会事務官 主任捜査官

採用12年目。捜査・公判部門での勤務が長く、立会事務官は今年で通算7年目。立会事務官のチーフとして活躍し、後輩からいつも頼りにされています！

8:30

出勤

その日の取調べや公判の予定を確認し、必要となる事件記録や作成する書類のデータを準備します。

9:00

公判準備①

次回の公判で判決が言い渡される予定の事件の公判準備をします。判決に伴う事務処理の必要書類を作成し、関係部署に回付して事前点検を受けます。

10:00

弁解録取

警察から送致された事件について、逮捕された被疑者の弁解を聞いて弁解録取書を作成した後、勾留請求書を作成して事件記録とともに令状担当へ回付します。

12:00

ランチ

時間に余裕がある日は、検事や同僚と一緒に庁舎近辺のご飯屋さんへ外食に行くこともあります😊

13:30

取調べ

検察官による被疑者取調べに立ち会い、録音録画機器の操作や供述調書の作成などを行います。取調べに先立ち、事件記録を読み込んで事件の内容を頭に入れておきます。

15:30

公判準備②

公判に提出する証拠について、被害者の個人情報に関係者に漏れないよう、被害者の特定につながる部分にマスキング処理をします。被害者保護のためにとっても重要な業務です。

17:00

翌日の予定の確認

翌日のスケジュールを確認し検察官に伝えます。警察などで取調べを行う場合は録音録画機器など必要となる機材を準備します。

17:15

退庁

帰宅後はジムに行って運動したり、自宅で趣味のギターを弾いたりして、ワークライフバランスのライフ部分もしっかり楽しんでいます！



勤務条件とワークライフバランス

給与

検察事務官の給与は、採用時は一般の国家公務員と同じ行政職の俸給表が適用されますが、一定の勤務経験（大卒程度試験採用は1年、高卒者試験採用はおおむね5年）後、**職務の特殊性が考慮され、金額的に有利な公安職の俸給表が適用されます。**その他、期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）、通勤手当、住居手当などの諸手当が支給されます。

【参考：標準的な大卒程度試験採用の場合】

採用時 232,000円

→ 採用1年後 268,000円

勤務時間

1日の勤務時間は

8時30分から17時15分まで

（正午から13時までは休憩時間）

の7時間45分ですが、早出遅出勤務により30分単位で勤務時間を早めたり遅くしたりすることができるため、その日の自分の都合や業務都合により勤務時間を柔軟に変更して働くことができます。

なお、宿直勤務はありません。また、時間外勤務をした場合には超過勤務手当が支給されます。

休暇

休暇は、国民の祝日のほか土曜日・日曜日の週休二日制となっており、その他、有給休暇として

年次休暇 年20日（採用1年目は15日）

特別休暇（結婚、出産、忌引きなど）

夏季休暇（7～9月の間に3日間）

病気休暇（負傷・疾病）

などがあります。

なお、土日祝日には休日勤務を当番制で行っていますが、休日の日に勤務した場合には平日の勤務日を休日に振り替えて休むことができます。

ワークライフバランス

ワークライフバランスを充実させるための取組として

定時退庁日（毎週水曜日）の意識啓発

月1日以上年次休暇取得の奨励

早出遅出勤務の積極的活用

などを行っています。

また、3歳に満たない子を養育する職員は、男女を問わず育児休業を取得することが可能であり、育児休業を取得した職員に対しては、定期的に業務に関する情報提供を行ってスムーズに職場復帰できるようサポートをしています。

参考までに、岐阜地検の検察事務官の年次休暇平均取得日数は18.20日となっています。

職員間の交流

岐阜地検では、野球、バレーボールなどの部活動が盛んに行われており、毎年行われる検察庁親善大会などで好成績を挙げるために勤務時間終了後や休日に活動をしています。また、部活動は幅広い年代の職員が所属しており、このような場で他部署の職員と接点を持つことで職員間の交流を深めています。

また、若手職員は、自ら集まり親睦を図ることで、職場でも互いに気遣う姿がよく見られ、みんなが気持ち良く楽しく仕事ができるよう雰囲気作りを積極的に行っています。



採用に関するアレコレ！！～採用担当者インタビュー～

岐阜地検の求める人材は？

検察庁はマンパワーを結集して仕事を進めていく役所であり「人の役所」と言われています。そのため協調性がとても重要となり採用においてもこの点を重要視しています。

面接ではどんな点を見る？

検察事務官として働きたいという意欲を見ている。なぜ検察事務官になりたいのか、どうして岐阜地検で働きたいのかという点は、必ずと言っていいほど面接で聞かれると思います。

検察庁を目指す学生へ一言

どんな仕事でも良い面と悪い面があると思います。いろいろな官庁を見た上でやっぱり検察庁で働きたいと思ってもらえたらうれしいです。体調管理に気をつけて就職活動を乗り切ってください！

業務説明会、採用に関するお問い合わせはこちらまで

岐阜地方検察庁

事務局総務課人事係

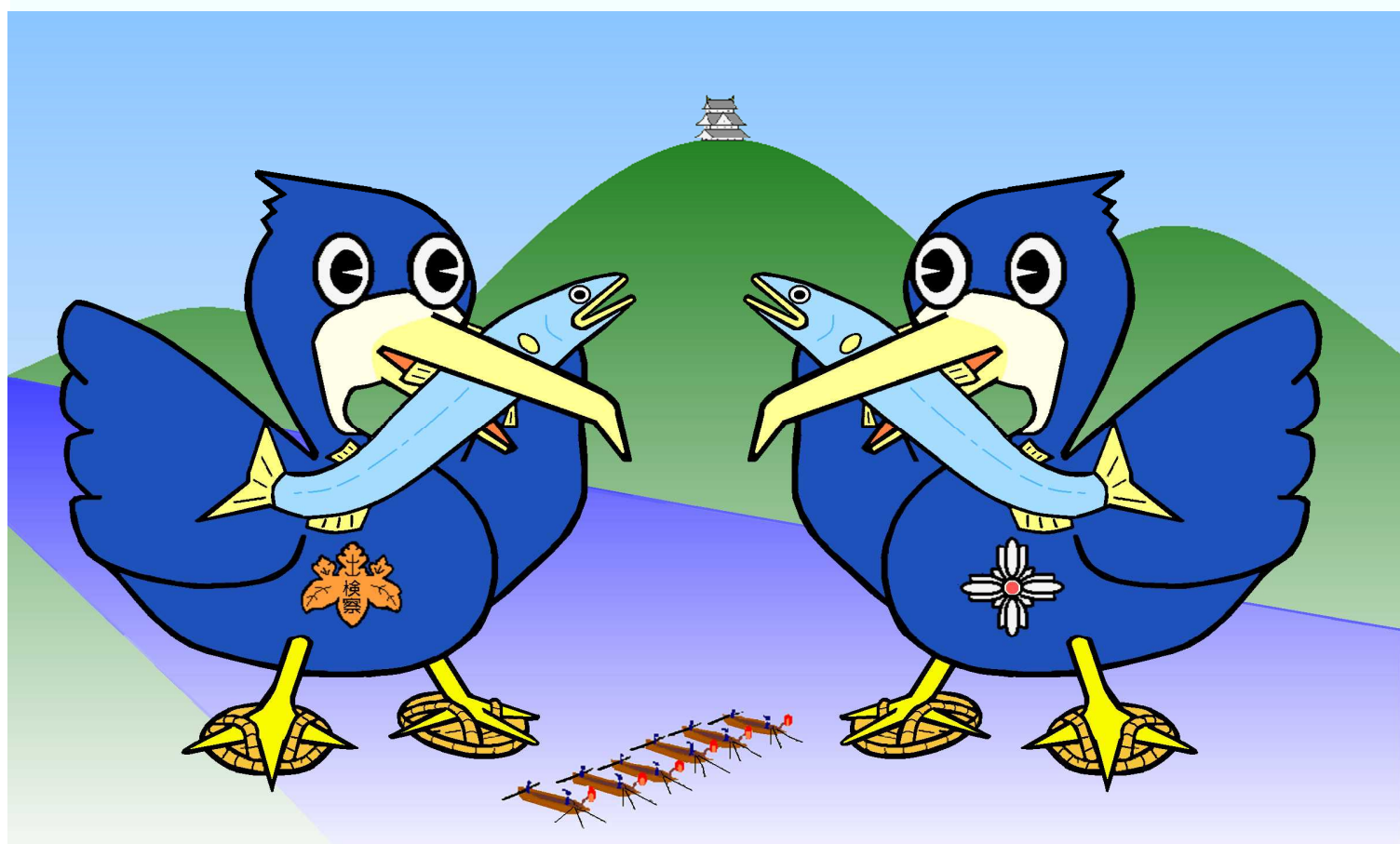
岐阜市美江寺町2-8

☎ 058-262-5149

岐阜地検

検索

岐阜地方検察庁の(広報)キャラクター



ウージー

ウーピー

このキャラクターは、長良川の鵜飼の鵜をモチーフに、口には岐阜県の県魚「鮎」を捕らえ、胸には検察官バッジ(記章)、検察事務官バッジ(記章)を着け、「ウーピー」、「ウージー」と命名しました。

このキャラクターには、鵜匠が乗る6隻の鵜舟が一つになって絡み合う「総がらみ」のように、6人の裁判員が互いの持つ力を一つに合わせ、これからの司法を支えていただきたいという願いを込めております。